



ともに挑む。 ともに進む。

アジアの産業と暮らしを豊かにする
流通プラットフォームの構築を目指して。
販売先様の会「やまずみ会」、
仕入先様の会「炭協会」をはじめとする
ステークホルダーのみなさまとともに、
わたしたちの挑戦は続きます。

350年の歴史を超えて、明日へ、未来へ。
Growing Together

YUASA REPORT

第138期

2016年4月1日から
2016年9月30日まで

138

Contents

- 1 ユアサ商事グループのビジネスフィールド
- 3 株主の皆さまへ
- 5 セグメント別の概況
- 6 決算ハイライト
- 7 中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について
- 11 Growing Together ～ともに挑むイノベーション～
- 13 主要連結財務データ
- 14 会社概要／株式情報



ユアサ商事グループは日本からアジアへ、「産業とくらし」を未来につなぎます。

機械と住宅の専門商社として「産業とくらし」の発展に貢献してまいりましたユアサ商事は、おかげさまで創業350周年を迎えることができました。「海外」「環境エネルギー」「国土強靱化」を成長市場と捉え、日本からアジアへ「産業とくらし」の発展を目指し、事業を展開してまいります。



Growing Together

～ともに挑むイノベーション～

当社は取引先さまの会である「やまづみ会」様、「炭協会」様とともに「グランドフェア」を通じ情報発信を行っております。1978年(昭和53年)の第1回開催後、毎年開催されており、現在は関東、関西、中部、東北、九州の5カ所です。毎年6万人を超えるご来場をいただいております。



関東グランドフェア2016の様子

詳細については P.12 へ

産業機器部門

「モノづくり」を独自のIT&ロジスティクス・ネットワークで支えます。



日本の「モノづくり」を側面から支える切削工具・制御機器・測定機器、マテハン機器を、全国に広がるIT&ロジスティクス・ネットワークによりスピーディーに供給いたします。

住設・管材・空調部門

エコエンジニアリング機能の発揮によりスマート社会を実現します。



独自のエコエンジニアリング機能をベースに創エネ機器、住設・管材機器、空調機器をトータルに提供いたします。

建築・エクステリア部門

快適で強くしなやかな都市空間を創造します。



快適で強くしなやかな都市空間の創造に向け、ビルやマンション向けの建築資材や公園・道路・橋梁向けの景観・土木資材を積算から施工まで一貫してサポートいたします。

工業機械部門

最先端技術で世界の「モノづくり」を支えます。



工作機械業界のマーケット・リーダーとして、国内トップメーカーの機械設備に独自のエンジニアリング機能を付加し、世界の「モノづくり」を支えてまいります。

エネルギー部門

スマート&BCP低炭素社会時代に相応しいエネルギーの安定供給を実現します。



エネルギーの安定供給を命題に、各種産業用燃料、船舶用燃料、民生用燃料の販売を行うとともに、スマート社会実現に向けた提案を行っております。

その他部門 (消費財・木材)

ライフスタイルや産業の多様化に合わせ、新しい産業とくらしのカタチをご提案します。

ライフスタイルや産業の変化による製品ニーズの多様化に柔軟に対応し、季節家電や生活・調理家電等の消費財の開発・輸入・販売、木材・製材品の輸入・販売を通じて、新しい暮らしのカタチを創出いたします。



建設機械部門

時代が求める最新鋭の産業用レンタル商材を提案します。



道路舗装や土木工事に必要な産業機械・資材の提供とともに、時代が求める「高効率」「安全」「省力化」「環境保護」「BCP」の視点で産業用レンタル商材を提案いたします。

産業機器部門

- 切削工具
- 制御機器
- 梱包・包装機器
- MRO
- 測定機器
- 伝導機器
- マテハン機器
- ユーティリティ機器
- 作業工具
- ロボット

工業機械部門

- 工作機械
- 成形加工機
- 鍛圧・板金機械
- ソフトウェア
- 鋼材加工機

住設・管材・空調部門

- 水廻り住設機器
- 冷暖房機器
- 給湯器
- 省エネコンサルティング
- バルブ
- ポンプ
- エネルギー管理システム
- 管・継手
- 照明
- 蓄電池

建築・エクステリア部門

- エクステリア
- 建築金物
- 土木道路資材
- 外構資材
- 土木道路資材
- 景観資材
- 金属建材

建設機械部門

- 土木・建築・道路機械
- 建設小型機器
- 高所作業車
- 動力源
- 溶接機
- 建設小型機器
- 高所作業車
- 仮設ハウス
- 発電機
- 水中ポンプ
- 仮設ハウス

エネルギー部門

- 石油製品
- 民生用燃料
- 産業用燃料
- 船舶用燃料

その他部門

- 扇風機
- 加湿器
- 調理家電
- コタツ
- 木材製品

創業350周年 市場の大変革に備え 成長事業&コア事業を 強化します

代表取締役社長 **佐藤 悦郎**

2017年3月期第2四半期 経営成績

売上高	203,192 百万円 前年同四半期比 2.9%減
営業利益	3,575 百万円 前年同四半期比 18.4%減
経常利益	3,949 百万円 前年同四半期比 16.7%減
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,703 百万円 前年同四半期比 17.7%減

中期経営計画「YUASA LEGACY 350」 の達成に向けて

当第2四半期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)は、中期経営計画「YUASA LEGACY 350」の最終年度として、経営計画目標である連結売上高4,470億円、連結経常利益113億円の達成に向けてグループ一丸となって取り組みました。アジア最大級の「産業とくらしの流通プラットフォーム」の構築を目指し、「グローバル

強化」「国内成長分野の開拓」「プラットフォーム機能の強化」に注力するとともに、海外事業、環境エネルギー事業、国土強靱化対応事業を推進いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は前年同四半期比2.9%減の2,031億92百万円となりました。利益面につきましては、営業利益が35億75百万円(前年同四半期比18.4%減)、経常利益は39億49百万円(前年同四半期比16.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27

1株当たり配当金の推移 単位:円



※当社は、2014年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。上記のグラフは、2013年3月期に株式併合が行われたと仮定し、配当金の推移を表記しています。

億3百万円(前年同四半期比17.7%減)となりました。2017年3月期の配当金につきましては、期初の予想どおり中間配当金は1株あたり45円とさせていただきます。期末配当金につきましては1株あたり50円を予定しております。今後も安定的・継続的な配当実現に向け全力を尽くしてまいります。

成長市場への挑戦を継続

成長3事業 **Pickup!** 海外事業につきましては、

米国やメキシコにおける生産自動化ラインの提案に注力しております。日本のモノづくりが培った自動化ノウハウは海外においても展開可能であり、米国エリアだけでなく中国や東南アジアにおいても生産自動化ニーズに対応したエンジニアリング体制を充実させてまいります。

環境エネルギー事業につきましては、戸建て住宅のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化に向けたパッケージ提案をスタートさせております。独自のシミュレーションソフトを開発し、現在全国のホームビルダーさま、工務店さまにご活用いただくための提案活動に注力しております。

国土強靱化対応事業につきましては、防災・減災や事業継続に関わるハードとソフトの両輪での事業を推進しております。

コア事業の収益力拡大に向けて

コア事業の収益力拡大 **Pickup!** に向けた取組みとして、M&Aを推進しております。2016年7月には友工商事株式会社(大阪市中央区)、2016年10月には東洋産業株式会社(千葉市若葉区)、浦安工業株式会社(東京都墨田区)の全株式を取得し、完全子会社化を行いました。

今後もコア事業領域においてはM&Aについても有効な手段として活用し、さらなる収益力拡大を目指してまいります。

経営基盤強化に向けて

プラットフォーム機能の強化に向けて、ロジスティック機能や情報インフラの強化に注力しております。ロジスティック機能強化の一環として、2016年5月に「ユアサ商事関東物流センター」(千葉県柏市)が稼働いたしております。都心から高速道路を利用して約40分、柏インターチェンジから程近い場所に立地し、約65,000アイテムの専門性の高い商品群を集約しています。

株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりがせぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Pickup!

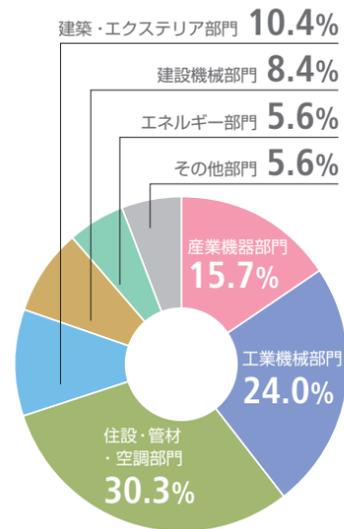
成長3事業

詳しくはP.9-10に掲載。

コア事業の収益力拡大

詳しくはP.11に掲載。

■セグメント別売上高構成比



建築・エクステリア部門

売上高 **212億21百万円** 前年同期比 0.2%増

- 新設住宅着工戸数回復で、住宅エクステリア関連製品やビル・マンション向けの金属建材製品は堅調に推移。公共事業減少で、鋼製フェンス・防護柵製品など、土木道路関連資材は低調に推移。
- 景観エクステリア商品や金属パネルなどの建築商材、防災倉庫や免震材などのレジリエンス製品の拡販に注力。

産業機器部門

売上高 **318億88百万円** 前年同期比 3.8%増

- 自動車関連産業や航空機関連産業を中心に切削工具、測定器具、制御関連機器などの需要は引き続き底堅く推移。
- コンプレッサやロボット装置等の自動化関連機器、工場向けマテハン関連機器など環境・省エネ、安全に配慮した取扱商品の拡販や搬送機器等の販売強化に注力。

建設機械部門

売上高 **170億92百万円** 前年同期比 0.5%減

- 海外向け中古建設機械オークション事業は、商品の拡充など販売拡大に注力。
- 国内では、国土強靱化に対応した取扱商品の拡充や、土木・舗装機械、屋内作業向け高所作業車、小型機器などの拡販を進め、海外ではアジア新興国向け建設機械の販売に注力。

工業機械部門

売上高 **486億70百万円** 前年同期比 9.5%減

- 新興国の景気減速により、設備投資は抑制傾向。一方、メキシコやベトナムを中心とした市場では新規設備投資需要が底堅く推移。北米を中心に営業基盤の強化に注力。
- 堅調な自動車や航空機関連産業向けの工作機械販売に注力。工場の自動化、環境・省エネ・省コストの提案営業力を強化。

エネルギー部門

売上高 **113億70百万円** 前年同期比 22.4%減

- 販売価格の下落傾向に加え、円高基調により厳しい販売状況で推移。
- 一般石油製品・潤滑油を中心に新規開拓や新商材の販売に注力。

住設・管材・空調部門

売上高 **616億28百万円** 前年同期比 2.0%増

- 新設住宅着工戸数の回復や底堅いリフォーム需要のなか、住宅設備機器や管材・空調商品の販売は堅調に推移。
- 空調機器など省エネ性能の優れた商品販売に注力し、新エネルギー関連商品では蓄電池・パワーコンディショナ等の周辺機器を拡販。

その他部門

売上高 **113億20百万円** 前年同期比 0.5%減

- 消費財事業では、季節・調理家電をはじめとしたプライベートブランド商品の拡販に注力。
- 木材事業では、東南アジアからの特殊合板や住宅用部材である針葉樹製材をはじめとした欧州材の輸入販売に注力。

POINT

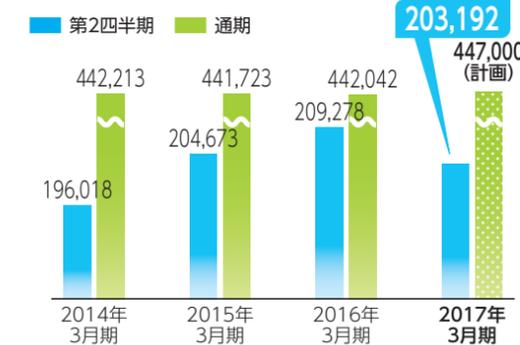
2017年3月期
第2四半期
決算のポイント

1 売上高
工業機械部門、エネルギー部門の減収の影響などにより、売上高は前年同期比2.9%の減収となりました。

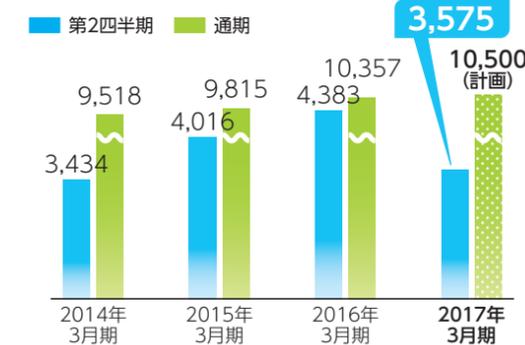
2 配当金
1株当たり配当金につきましては、連結株主還元率目標25%に沿い、期初の予想どおり中間配当金は1株当たり45円とさせていただきます。期末配当金については1株当たり50円を予定いたしております。

3 自己資本比率
中期経営計画で主要経営指標として掲げる自己資本比率は目標値の30.0%に対し、29.8%となりました。

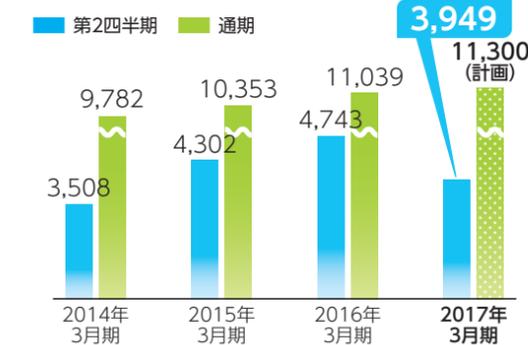
売上高 [単位 百万円]



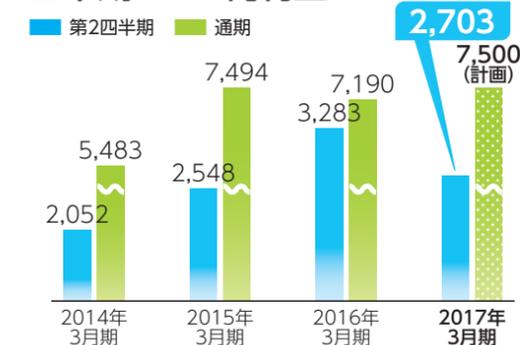
営業利益 [単位 百万円]



経常利益 [単位 百万円]



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 [単位 百万円]



自己資本比率 [単位 %]



さらに詳しい情報は
当社IRサイトをご覧ください。

ユアサ商事 IR

<http://www.yuasa.co.jp/ir/>

※過去の実績は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載しております。

「YUASA LEGACY 350」について

3つの軸を拡大し、アジア最大級の「産業とくらしの流通プラットフォーム」を構築。さらなる競争優位のポジションを確立すると同時に、連結経常利益100億円以上を常態化できる強固な経営基盤を確立いたします。

350年の歴史を「LEGACY(遺産) = 次代の成長基盤」として引き継ぐ

2016年に創業350周年を迎えた当社が、創業以来築き上げてきた国内最大規模の「産業とくらしの流通プラットフォーム = LEGACY (遺産)」をアジア最大級にまで進化・拡大し、持続的な成長のための基盤を確立する3年間。



3つの軸を拡大することで
プラットフォーム価値を
最大化する

商流の拡大

国内成長分野の開拓

- 環境エネルギー事業 → 詳細は P.9 へ
- 国土強靱化対応事業 → 詳細は P.10 へ
- 6つのコア事業セグメント

商域の拡大

グローバル強化

- 海外事業 → 詳細は P.9 へ

プラットフォーム機能強化

- 情報力強化
- 人材力強化
- 本社機能強化
- 財務体質強化

定量目標

	2016年 3月期 実績	2017年 3月期(第2四半期) 実績	2017年 3月期 計画
連結売上高	4,420億円	2,031億円	4,470億円
連結経常利益	110億円	39億円	113億円
連結経常利益率	2.50%	1.94%	2.53%
親会社株主に帰属する当期純利益	71億円	27億円	75億円

	2016年 3月期 実績	2017年 3月期(第2四半期) 実績	2017年 3月期 計画
ROE	13.2%	—	13.0%
自己資本比率	28.0%	29.8%	30.0%
連結株主還元率	30.6%	—	27.9%

経営基盤強化

情報力強化・拠点機能強化
人材力強化

プラットフォーム機能強化

ITインフラ整備と拠点機能強化、人材力強化による経営基盤整備により、「産業とくらしの流通プラットフォーム」の機能強化を図ります。

産業とくらしの流通プラットフォーム

ユアサ商事関東物流センターが始動



2016年5月にユアサ商事関東物流センターが稼働を開始いたしました。プラスロジスティクス株式会社さまに物流業務を委託し、物流基盤のさらなる強化を図っております。都心から高速道路を利用して約40分、柏インターチェンジから程近い場所に立地し、複数の物流拠点の統合により、専門性の高い商品群を集約しています。

多様な取扱商品を多様な機能とともに提供する「産業とくらしの流通プラットフォーム」として、お取引先さまのお役にたてる物流サービスを展開いたします。



ユアサ商事関東物流センターの概要

所在地	千葉県柏市新十倉二13番 15Gリアルティ柏A棟3F
区画	3階B・C・D区画
面積	2,530坪(事務所39坪含む)
業務開始	2016年5月



ピッキング、梱包、検品、出荷の計4工程で商品バーコードを使いデータを可視化しています。

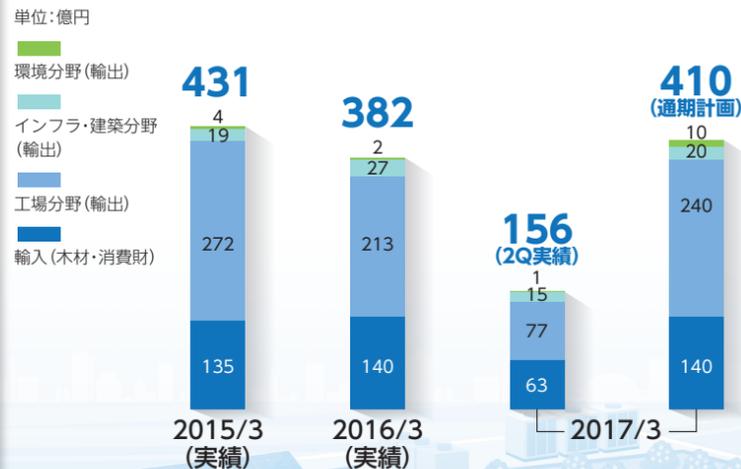


関東物流センターでは約65,000アイテムが保管されています。

海外事業

商域の拡大

3つの分野(工場分野、環境分野、インフラ・建築分野)で海外事業を拡大します。



成長分野の業績指標

2017年3月期目標

施策・事業例

海外取扱高 **410億円**
海外取扱比率 **9.2%**

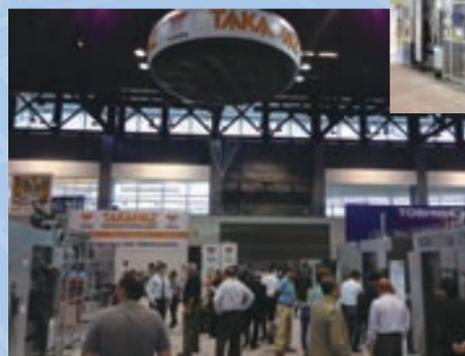
北米・中米・アジアでの**工作機械販売の拡大**

アジアでの**建設機械・環境機器販売の拡大**

強化ポイント

海外で自動化ラインの提案を強化

米国では生産自動化の流れに合わせ、マシニングセンタと旋盤をローダーで連結した自動化ラインの提案を強化しております。中国・東南アジアでも現地工場の自動化ニーズに対応したエンジニアリング体制を充実させております。日本でのモノづくりを通じて培った自動化のノウハウは海外においても十分に応用が可能であり、今後も本分野を強化してまいります。

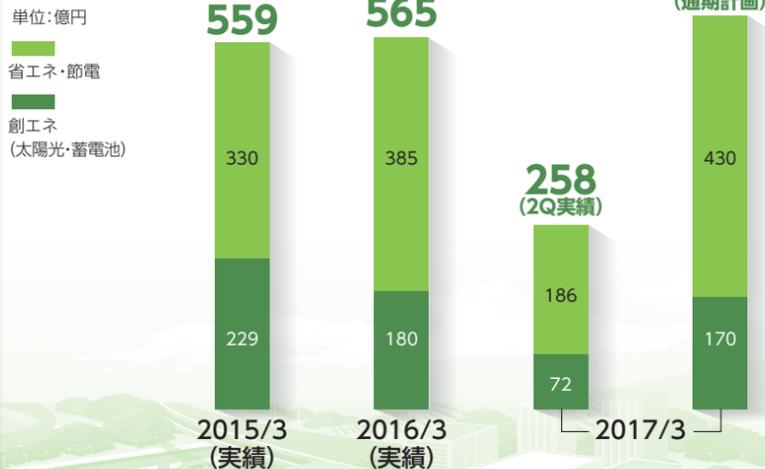


2016年9月に米国で開催されたITMS(シカゴショー)ではOKK製マシニングセンタと高松機械製旋盤をローダーで連結した自動化ラインの提案を行いました。

環境エネルギー事業

商流の拡大

「**創エネ+蓄エネ+省エネ**」をコンセプトに、エンジニアリングの提案からメンテナンスまで一貫したサービスを提供します。



成長分野の業績指標

2017年3月期目標

施策・事業例

環境機器売上高

600億円

創エネ(太陽光・蓄電池)販売の維持

節電・省エネ機器の販売(工場・建設)

強化ポイント

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)提案を強化

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(以下、ZEH)の普及に向け、当社では「YUASAのZEH」というオリジナルのサービスプランを作成いたしました。当社の幅広い商品群やコンサルティング&エンジニアリング機能を活用し、ハードとソフトの両面から全国のホームビルダーさまや工務店さまをサポートしております。

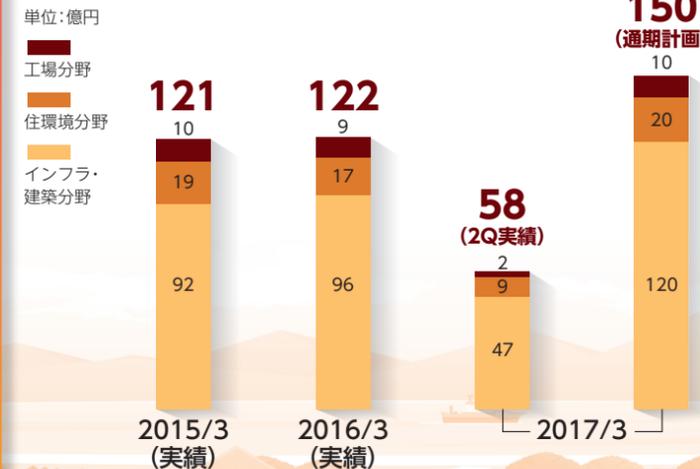
「ZEH」パッケージプラン商品提案事例



国土強靱化対応事業

商流の拡大

ハード(レジリエンス商品)とソフト(BCP支援、耐震化支援)の両輪により企業の防災・減災・BCP活動を支援します。



成長分野の業績指標

2017年3月期目標

施策・事業例

レジリエンス商品売上高

150億円

レジリエンス新商品の開発

BCP、耐震化提案(企業・自治体向け)

強化ポイント

神奈川県箱根町の観光ターミナルに防災備蓄パッケージを納入

当社は2016年9月、小田急箱根ホールディングス株式会社さまを通じ、神奈川県箱根町の観光ターミナル桃源台駅に観光客向けの防災備蓄パッケージを納入させていただきました。箱根観光の輸送を担う交通機関としての同社の責任に鑑み、箱根町の帰宅困難者対策の機能向上をはかるべく備蓄品の選定を行いました。今後も安心・安全な社会インフラづくりに向け、商社ならではの備蓄品のパッケージ提案を推進してまいります。



2016年9月に神奈川県箱根町の芦ノ湖北側にある桃源台駅に設置した防災備蓄パッケージ。災害時に250名が3日間滞在できるための発電機、投光機、食糧、水、芦ノ湖の水源を利用する浄水器等を防災備蓄倉庫とともに納入させていただきました。

Growing Together

～ともに挑むイノベーション～

創業350周年を迎え、取引先さまや社員に感謝をお伝えする仕入先さまと三位一体となり、成長市場への挑戦、新市場の

とともに、ビジネスパートナーとして販売先さま・開拓を通じた事業拡大に取り組んでまいります。



産業とくらしの「グランドフェア2016」を開催

～受注高、来場者数において過去最高を更新～

コア事業&機能強化に向けた取組み

友工商事(株)、東洋産業(株)、浦安工業(株)の株式を取得

当社グループは、この度以下の3社の全株式を取得し、完全子会社化を行いました。このことにより、住設・管材・空調部門、建築・エクステリア部門の収益力拡大とエンジニアリング機能の強化を図ります。今後もコア事業領域においてはM&A等によりさらなるシェアアップを図ってまいります。

友工商事株式会社

西日本における有力な地域密着型の住設系、管材系の専門商社であり、工務店やリフォーム会社への強固な営業基盤を有しております。

会社概要	
本 社	大阪市中央区南船場2-4-12 ユアサ大阪ビル9階
事業内容	住設機器、管工機材、建築資材及び太陽光発電システムの販売
社 員 数	102名(2016年7月)
資 本 金	98百万円
売 上 高	67億円(2015年9月期)
株式取得日	2016年7月20日



2016年10月より本社をユアサ商事(株)関西支社内に移転いたしました

東洋産業株式会社

千葉県を地盤とする有力な外柵工事会社であり、県内に強固な営業基盤を有しており、大手建設会社との施工実績も多数ございます。

会社概要	
本 社	千葉市若葉区若松町717-12
事業内容	外構資材の販売事業及びエンジニアリング事業
社 員 数	21名(2016年9月)
資 本 金	50百万円
売 上 高	22億円(2015年12月期)
株式取得日	2016年10月3日



東洋産業(株)が施工を担当したシェルター回廊工事(千葉県内)

浦安工業株式会社

官公庁を主要取引先とする設備工事会社で空調設備、給排水衛生設備、消火設備の各工事を主力事業としております。(当社子会社ユアサクオビス(株)の100%子会社)

会社概要	
本 社	東京都墨田区錦糸2-8-7
事業内容	空調設備工事、給排水衛生設備工事、消防設備工事
社 員 数	93名(2016年9月)
資 本 金	1億5,070万円
売 上 高	62億円(2015年5月期)
株式取得日	2016年10月3日



浦安工業(株)が空調衛生工事を担当したすみだ北斎美術館(東京都墨田区)

社員とともに進む

創業350周年記念感謝祭

当社は、2016年6月～2017年2月にかけて、全国の支社支店ごとにファミリーイベントとして「創業350周年記念感謝祭」を開催しております。各拠点ごとに工夫を凝らした感謝祭が実施されており、社員や家族同士が交流を楽しむことで、社員のモチベーションアップに繋がっています。



本社・関東支社のファミリーイベントで挨拶する佐藤社長



静岡支店ファミリーイベントでの記念撮影



新潟支店ファミリーイベントでの記念撮影



本社・関東支社のファミリーイベントでは社員とその家族を合わせ約530名が集いました

グランドフェアの受注高・来場者数推移



当社は販売先さまの会である「やまづみ会」様、仕入先さまの会である「炭協会」様とともに、2016年7月から9月までの期間に、関東、関西、中部、東北、九州の5ヵ所において産業とくらしの展示会「グランドフェア2016」を実施いたしました。

5会場合計の受注高は1,198億円、ご来場者数は64,442名となり、いずれも過去最高を更新いたしました。

今後もグランドフェアを通じ、「産業とくらし」の未来を提案してまいります。

科 目	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期 (計画)
経営成績 (百万円)						
売上高	204,673	441,723	209,278	442,042	203,192	447,000
営業利益	4,016	9,815	4,383	10,357	3,575	10,500
経常利益	4,302	10,353	4,743	11,039	3,949	11,300
親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益 ^{*1}	2,548	7,494	3,283	7,190	2,703	7,500
財務状況 (百万円)						
総資産	194,793	204,897	193,231	202,891	192,805	—
純資産	47,125	52,684	54,235	57,307	58,116	—
キャッシュ・フロー (百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,269	12,476	2,704	9,114	5,653	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 908	3,550	△ 134	△ 589	△ 3,252	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,698	△ 11,810	△ 2,901	△ 8,982	△ 2,556	—
現金及び現金同等物の期末 (四半期末) 残高	28,047	31,031	30,701	30,436	30,082	—
1株当たりデータ (円)^{*2}						
1株当たり当期 (四半期) 純利益	115.99	340.82	148.99	326.27	122.56	—
1株当たり純資産	—	2,369.99	—	2,573.88	—	—
1株当たり配当金	(中間) 30	(年間) 85	(中間) 30	(年間) 100	(中間) 45	(年間) 95
主要経営指標 (%)						
総資産経常利益率 (ROA)	—	5.0	—	5.4	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	—	15.6	—	13.2	—	13.0 ^{*2}
自己資本比率	23.6	25.5	27.8	28.0	29.8	30.0 ^{*2}
配当性向	—	24.9	—	30.6	—	27.9

^{*1}「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「当期 (四半期) 純利益」は「親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益」に表示を変更しています。
^{*2} ROE、自己資本比率は中期経営計画最終年度である2017年3月期計画を表記しています。

(2016年9月30日現在)

会社概要

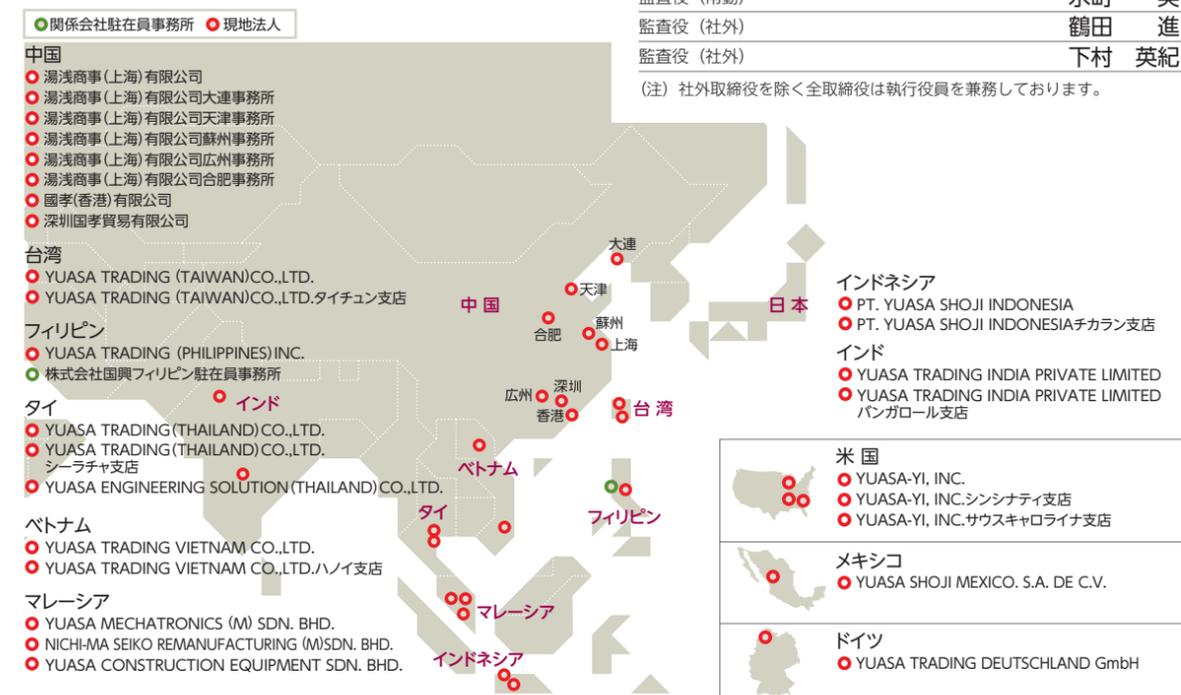
商 号 ユアサ商事株式会社
 YUASA TRADING CO.,LTD.
 本 社 東京都千代田区神田美土代町7番地
 創 業 1666年 (寛文6年) 3月
 設 立 1919年 (大正8年) 6月25日
 資 本 金 20,644百万円
 従業員数 1,836名 (連結) 908名 (単体)

取締役及び監査役

代表取締役社長	佐藤 悦郎
代表取締役専務取締役 経営管理部門統括 兼 地域グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長	澤村 和周
専務取締役 工業マーケット事業本部長 兼 海外事業推進担当 兼 (株)国興代表取締役会長	田村 博之
常務取締役 住環境マーケット事業本部長 兼 建設事業統括 兼 ユアサプライムス(株)代表取締役会長	白井 良一
取締役 経営管理部門副統括 兼 総務部長	佐野木晴生
取締役 東部住環境本部長	田中 謙一
取締役 工業マーケット事業本部副事業本部長 兼 (株)国興代表取締役社長	高知尾敏之
取締役 建設マーケット事業本部長	鈴木 道広
取締役 (社外)	前田 新造
取締役 (社外)	灰本 栄三
監査役 (常勤)	宮崎 明夫
監査役 (常勤)	水町 一実
監査役 (社外)	鶴田 進
監査役 (社外)	下村 英紀

(注) 社外取締役を除く全取締役は執行役員を兼務しております。

グローバルネットワーク



株式の状況

発行可能株式総数…………… 40,000,000株
 発行済株式総数…………… 23,155,882株
 (自己株式1,078,245株を含む)
 株主数…………… 9,817名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,378	10.77
ユアサ炭協持株会	752	3.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	675	3.05
株式会社三井住友銀行	594	2.69
DMG森精機株式会社	584	2.64
東部ユアサやまざみ持株会	578	2.62
西部ユアサやまざみ持株会	578	2.61
ダイキン工業株式会社	452	2.04
ユアサ商事社員持株会	444	2.01
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	410	1.85

1.千株未満は切り捨てて表示しております。
 2.持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
 3.当社は自己株式1,078千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 4.上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,378千株
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 675千株

お知らせ

個人投資家向けイベント 「資産運用フェア」出展の案内

当社は、2016年12月13日(火)・14日(水)に、東京国際フォーラムにて野村インベスターリレーションズ株式会社が開催する個人投資家向けIRイベント「資産運用フェア2016」に出展いたします。当社ブースでは、パネル展示や資料配布、当社事業内容についてのミニプレゼンを行います。

イベント概要

日時：2016年12月13日(火)・14日(水) 10時00分～18時00分
会場：東京国際フォーラムB2F ホールE 東京都千代田区丸の内3-5-1
出展内容：当社の事業内容に関するミニプレゼンやパネル展示を行います。

アクセス

J R：有楽町駅より徒歩1分
東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)
地下鉄：有楽町線 / 日比谷線 / 千代田線 / 丸ノ内線 / 銀座線 / 都営三田線 各線
有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)
銀座駅より徒歩5分
日比谷駅より徒歩5分
京橋駅より徒歩7分



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。